

第2回 わがまち若葉町を語ろう ～むかしといま～

はじめに

第2回はまちの昔と今についてのプログラムです。今後、まちの将来を考えていくにあたり、様々な角度から若葉町を見つめ直すため、時間軸で考えるワークを行いました。

はじめに、アドバイザーの讃岐先生と立川市より、「まちづくり」について説明を行いました。

<まちづくりを考えるポイント> 東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讃岐 亮 先生
市民や訪れる人ひとりひとりが「じぶんごと」として考えることが大切です。自分はまちとどう関われるか考えてみることで「じぶんごと」につながります。自分や他の人が魅力と思っているところや、行政が計画で描いている未来のイメージを共有して将来のビジョンを描きましょう。

<若葉町のまちづくりについて> 立川市まちづくり部都市計画課 白坂 浩二 課長

立川市都市計画マスタープランでは、「都市機能集積を生かした持続可能なまちづくり」「人々が集まり交流する魅力あるまちづくり」「住み慣れた地域で安全で安心な生活を送ることのできるまちづくり」の3つを目標としています。若葉町においては、武蔵野の面影を残す豊かな緑を保全しながら、うるおいある住宅地の形成を図り、町の面積の1割強を占める生産緑地の保全や、都市計画道路の整備推進などに取り組んでいます。

ステップ1 若葉町とわたし

～若葉町とわたしの紹介～

第1回と同じメンバー構成で、6つの班に分かれてワークを行いました。

若葉町の昔（昭和10年）の地図上に、現在の自分の住まいの場所をシールで示しました。自分が住んでいる場所は、昔、どのようなところだったでしょう？

また、若葉町の在住年数、若葉町を選んだ決め手、持参していただいた「若葉町の昔が分かる資料」について紹介しました。

各班にはファシリテーターに加え、市の若手職員も1人ずつ入り、一緒にワークを行いました。



グループワーク

若葉町を 転入する時、選んだ決め手

- ・住環境の良さ
- ・子育てしやすい
- ・緑が多い
- ・団地が当たったから
- ・交通の便が良かったから
- ・立川市の中でも閑静な土地だから
- ・生まれた町だから

など

（参加者の自己紹介シートより抜粋）

ステップ2 若葉町を語ろう

～まちの今と昔を語ろう～

若葉町の「今の良いところ・足りないところ」、「昔（今現在より過去のこと）の良かったところ・足りなかったところ」について、班ごとに意見を出し合いました。良いところはピンクのふせん、足りないところは青のふせんに書き出しました。

そして、それらの意見を『自然・みどり』『交通・道路』『施設・拠点』『生活・暮らし』『安全・安心』『その他』の6項目に振り分け、今・昔のシートに貼りました。

グループワーク



今のこと

（以下、参加者の意見の一部抜粋）

	良いところ	足りないところ
自然・みどり	・緑が多い ・古くからの木 ・団地の緑・市民農園	・広い公園がない ・サッカー、野球などできる場所がない
交通・道路	・バスの本数が多い ・信号ができた	・五日市街道の渋滞 ・歩道が狭い
施設・拠点	・若葉会館、図書館 ・スーパーが多い ・けやきモール	・交流の場が少ない ・公民館的な施設がない ・商店街が寂しい
生活・暮らし	・買い物が便利 ・お祭りが3つもある ・農園がある	・自治会が活発でない ・交流、つながりが少ない ・文化施設が少ない
安全・安心	・交番がある ・治安が良い、夜静か	・夜間人通りが少ない ・広域避難場所が遠い
その他	・富士山が見える	・町の中心となる魅力なし

昔のこと

	良かったところ	足りなかったところ
自然・みどり	・緑・畑が多かった ・生きものがいた ・空き地があった	・けやきや緑が減った
交通・道路	・くるりんバスがあった ・渋滞が少なかった	・駅に出るのが不便だった
施設・拠点	・商店街が賑やか ・駄菓子屋があった ・団地ができて賑わった	・コンビニ、スーパー、おしゃれなカフェがなかった ・会館（公民館）なかった
生活・暮らし	・学校行事が多かった ・近所付き合いがあった ・子育てしやすい	・買い物ができない
安全・安心	・火の用心が回っていた ・知らない大人にも怒られた	・雑木林など人の目の届かない所が多かった
その他	・子供が多かった	



ステップ2 若葉町を語ろう

～成果発表～

6つの班でそれぞれどのような意見が出たか、全体に向けて発表をし、讃岐先生から講評していただきました。班ごとに様々な特色ある意見が出ていました。



まとめ

東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讃岐 亮 先生

ステップ2のワークでは、お祭りや人と人とのつながりなど、ソフト面を挙げている班が多く見られました。お店の名称や、場所の名前など、地域の資産・資源に関する具体的なイメージが共有できたことも印象的でした。

次回は将来の話になります。どんなまちになって欲しいか、自分はまちとどのような関わりができるか、考えてみてください。



第3回ワークショップは
令和3年6月6日（日）開催予定です
テーマ：将来をイメージしよう
～これからのまちの姿～



参加者のみなさんからいただいた意見は、下記の方法で公開する予定です。
市では積極的な情報発信に努めてまいります。今後も、公共施設に関する情報を提供していきますので、ぜひご利用ください。

■立川市 公共施設再編関連の情報（市ホームページ）

<http://www.city.tachikawa.lg.jp/shise/sesaku/kakushukekaku/kokyosisetsu/index.html>

（「若葉町まちづくりワークショップ」で検索していただくと検索結果に表示されます。）



発行：立川市総合政策部 行政経営課

住所：〒190-8666 東京都立川市泉町 1156-9

電話番号：042-523-2111 FAX：042-521-2653

若葉町まちづくりワークショップ

ニュースレター vol. 2

第2回若葉町まちづくりワークショップを開催しました！

立川市では現在、公共施設再編個別計画に基づき、公共施設の再編を進めています。若葉町においては、小学校の統合や清掃工場の移転などにより、まち全体が大きく変わろうとしています。市民のみなさんと若葉町の将来について考えるため、ワークショップ（全8回予定）を開催しています。

第2回ワークショップは、当初2月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が発出されたため、4月に延期して開催しました。

【全8回プログラム】

- ①第1回 若葉町 まちの今を知ろう
- ★第2回 わがまち若葉町を語ろう
- 第3回 将来をイメージしよう
- 第4回 身近にある施設を知ろう
- 第5回 まちに必要な機能ってなんだろう
- 第6回 まちの機能再編にチャレンジ！
- 第7回 ポスターを作ろう！
- 第8回 ポスターセッション



第2回 若葉町まちづくりワークショップ 開催概要

日時：令和3年4月3日（土）13：30～16：00

場所：若葉会館

参加人数：29名

テーマ 「わがまち若葉町を語ろう ～むかしといま～」

■ はじまり

■ ステップ1 若葉町とわたし
～若葉町とわたしの紹介～

■ ステップ2 若葉町を語ろう

- ① まちの今と昔を語ろう
- ② 成果発表

■ まとめ

